

● 水道事業会計

平成 26 年度予算の主な事業	事業費
◇ 基幹管路耐震化事業 災害に強いライフラインの構築を図るため、基幹管路の耐震化を進める。	1 億 8,625 万円
◇ 配水管整備事業 水道水の安定供給を確保するため、配水管を計画的に更新・整備。	2 億 6,102 万円
◇ 配水施設整備事業	6,207 万円
◇ 浄水施設整備事業	4,766 万円

● 下水道事業会計

平成 26 年度予算の主な事業	事業費
◇ 雨水管路整備事業 浸水対策として大麻地区の幹線整備などを実施。	2 億 5,284 万円
◇ 汚水管路整備事業 野幌駅周辺土地区画整理事業に伴う汚水管路の更新などを実施。	2 億 7,008 万円
◇ 処理場・ポンプ場施設改築更新事業 環境に配慮した適切な下水処理を進めるため、老朽化した設備を計画的に更新。	4 億 7,800 万円
◇ 管路施設改築更新事業 管路状態を把握するためのテレビカメラ調査などを実施。	1 億 6,626 万円
◇ 処理場・ポンプ場施設耐震化事業	3,500 万円

上下水道事業



◎ 良質な上下水道サービスを提供し、効率的に事業を運営します。

■ 安定的な上下水道事業の運営に向けて中期経営計画を策定
上下水道事業では、計画的な施設・設備の更新を実施し、安定的に運営するため、中期経営計画を策定しました（平成 26 年 2 月）。
この計画に基づき、各事業に取り組み、良質な上下水道サービスの提供と効率的な事業運営を通じて、市民一人一人が安心して生活を送ること

※ 中期経営計画および平成 26 年度予算の詳細については、市ホームページをご覧ください。
HP <https://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/site/suidou/>
☎ 385・1214
詳細 水道部総務課財務係

企業会計

企業会計の「上下水道事業」と「市立病院」の予算概要です。

市立病院

◎ 在宅診療の充実に努めるなど、より質の高い医療サービスを提供します。
◎ 事業のさらなる効率化を図り、経営健全化を促進します。

■ 平成 25 年度の経営状況
平成 25 年度は、総合内科医や放射線技師、作業療法士などの増員により診療体制の充実に努めてきました。
平成 26 年 1 月末における診療収益については、当初計画と比較して約 7200 万円の減収となっておりますが、前年度実績との比較では約 2 億 4300 万円の増収となっております。

■ 平成 26 年度予算と平成 25 年度予算（当初）との比較

区分	平成 26 年度	平成 25 年度	比較増減	
病院事業収益	74 億 5,500 万円	72 億 7,700 万円	1 億 7,800 万円	
病院事業費用	76 億 900 万円	72 億 7,600 万円	3 億 3,300 万円	
当年度純損失	1 億 5,800 万円	200 万円	1 億 5,600 万円	
不良債務残高	4 億 3,700 万円 (2 億 3,100 万円)	3 億 4,900 万円 (3 億 4,900 万円)	8,800 万円 (△ 1 億 1,800 万円)	
患者数	入院	98,735 人 271 人 / 日	96,982 人 266 人 / 日	1,753 人 5 人 / 日
	外来	190,784 人 782 人 / 日	190,855 人 782 人 / 日	△ 71 人 0 人 / 日
病床利用率	一般	81.0%	79.5%	1.5 ポイント
	精神	76.9%	75.9%	1.0 ポイント

※ 平成 26 年度より、改定後の地方公営企業会計基準を適用
※ 不良債務残高の下段（ ）書きは、地方公営企業会計制度の見直しにより、一時的に増加する額を除いた数値



赤ちゃんのビタミン

産婦人科医 朝野 拓史

今どきの
養生
はなし

No.252

ビタミンと聞くと何を思い浮かべるでしょうか？ サプリメントなどでもよく目にしますが、どれくらい大切なのかを意識することは少ないかもしれません。私自身は、ビタミン不足が命に関わるということを目の当たりにして、その意識は変わりました。

私が初めて妊娠初期から担当した赤ちゃんです。正期産で無事にお産となり、1か月検診でも順調に成長していました。しかし、その一週間後(生後38日目)、突然、全身の血の気が引いたように、身体が冷たく真っ白になり、かろうじて泣く声は弱々しく、病院に連れて行くと、そこで心肺停止状態になったそうです。幸い一命は取り留めましたが、一体何が・・・？ 集中治療室に入院して4日目、この赤ちゃんについての病名は、特発性ビタミンK欠乏性出血症による脳室内出血という耳慣れない病名でした。

ビタミンKは、出血を止める血液中の成分をつくる時に必要で、食べ物から摂取、あるいは腸内細菌によっても作られます。しかし、胎盤をあまり通過せず、母乳中にも少ない成分のため、腸内細菌の未発達な新生児期・乳児期には不足し、出血症を起こすことがあります。そのため、日本では、出生直後、産科退院前、また1か月検診時の3回、ケーツーシロップというお薬を赤ちゃんに飲ませて補います。3回の補充で出血症をほぼ予防できますが、20万人に1人の赤ちゃんには補いきれずに命に関わる頭蓋内出血を起こすこともあります。なお、ヨーロッパでは母乳栄養の場合、生後3か月まで週1回自宅で補う方法をとっている国が多く、その方法では発症報告がありません。

母乳は赤ちゃんにとって良い面がたくさんありますが、ビタミンKや、骨の成長に関わるビタミンDが少ないなどの特徴があります。これらの成分の量は、お母さんの生活習慣にも関係し、バランスのとれた食生活や適度な日光浴が必要です。ただし、それでは補えないこともあるため、たまに人工栄養(ミルク)を飲ませることは赤ちゃんにとってサプリメントになるかもしれません。また大切なことは、1か月健診などの健診を適切な時期に受けること、そして、日本でも安心して母乳育児ができるように、みんなで考えていくことだと思います。

糖尿病教室 無料

医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・臨床検査技師が糖尿病についてわかりやすくお話しします。申込不要。

時間 15:00 ~ 16:00 会場 市立病院2階講義室

- 4月18日(金) ●糖尿病はどんな病気なの？ (田中内科医師)
●糖尿病の飲み薬 (多田薬剤師)
●食事療法の大切さ (藤川管理栄養士)
- 4月25日(金) ●フットケアって？ (本間看護師)
●糖尿病の尿検査について (安田臨床検査技師)
●糖尿病網膜症って？ (小林眼科医師)

※都合により内容が変わる場合があります。

詳細 市立病院診療技術部栄養科 ☎ 382-5151 (内線 6821)

■平成26年度の取り組み

平成26年度は、総合内科医など医師の確保に引き続き取り組みのほか、医療情報システムや医療機器の整備更新を計画的に行うことで、より充実した医療サービスを提供していきます。

また、現在の地域医療を取り巻く厳しい環境に対応するため、近隣地域などの公的医療機関との連携を一層推進し、地域の中核病院としての

機能向上を図っていきます。

さらに、自宅で安心して療養できる環境づくりを目指し、総合内科医などによる在宅診療の充実にも努めていきます。

経営面では、診療報酬の改定や消費税率の引き上げにより、経費が増加するなど一層厳しさを増す状況となることから、事業のさらなる効率化を図っていきます。

また、地方公営企業会計制度の見直しにより、企業の資金繰りの悪化状態を表す不良

債務の額が一時的に増加することから、経営の健全化をさらに促進し、段階的かつ早期の解消に努めていきます。

今後も「公立病院改革プラン」や「江別市立病院経営健全化計画」に基づき、経営改善に向けた各種取り組みを着実に実行し、市民の皆さんからより信頼される病院経営を推進していきます。

【詳細】市立病院管理課財務係 ☎ 382・5151 (内線 2008)

【詳細】市立病院管理課財務係 ☎ 382・5151 (内線 2008)



江別市立病院

職員募集

看護師・助産師 (経験者)



【応募資格】昭和44年4月2日以降生まれで、看護師・助産師の有資格者。

【試験日】4月16日(水)、5月14日(水)

【必要書類】採用試験申込書、身上調査書、受験票(ともに市立病院事務局で配布するほか、市立病院ホームページでも入手可)、看護師免許証の写し、最終学校卒業証明書、成績証明書。

【応募方法】試験日の5日前までに必要書類を申込先へ提出してください。

※非常勤職員(看護師・准看護師)は随時募集しています。

【申込・詳細】市立病院管理課総務係

☎ 067-8585 若草町6 ☎ 382-5151 内線 2006